

鶴岡地消地産シンポジウム

百年先へ繋ぐ食文化の革新



～地消地産で実現する
持続可能な循環型経済を考える～

3月5日[木] 15:00 - 19:00

どなたでも
参加無料!!

ユネスコ食文化創造都市鶴岡は今、伝統を継承するだけでなく、科学的知見を融合させて新たな価値を生み出す「食の変革期」を迎えています。現在、本市で進行中の「ガストロノミックイノベーション計画」を真に地域経済の活力へと繋げるためには、今後生み出されていく研究成果を地域の生産者や飲食店等が活用し、市民や観光客がその価値を享受する「地消地産」の強固な循環構造が不可欠です。本シンポジウムでは、山形大学農学部が提唱する「スマート・テロワール」の理念を基軸に、世界を牽引する食産業の形を提示し、地域一丸となって「稼げる食の理想郷」を構築するための道筋を議論します。

※「地消地産」とは…地域の消費者が望む商品を、地域で生産・提供すること

開催場所

グランドエル・サン ローズルーム
鶴岡市東原町17-7

お申込み

申込みはこちら
スマホからアクセス



内容

- | | |
|-------------|---|
| 15:10~15:55 | 1. 基調講演 山形大学農学部 名誉教授 浦川修司氏
グローバル化時代における持続可能な食と農の未来を考える |
| 16:00~17:20 | 2. パネルディスカッション
地消地産で実現する持続可能な循環型経済を考える |
| 17:30~19:00 | 3. 交流懇親会 スマテロの成果品を楽しむ会
※懇親会参加の場合 参加費 5,000円 |

講師

山形大学農学部 名誉教授
浦川修司氏



京都大学より博士（農学）の学位を授与、三重県農業研究所や農研機構（上席研究員）を経て現職。専門は作物生産科学。庄内地域において、耕種農業と畜産を連携させた地域循環型農業「庄内スマート・テロワール」を牽引する。自給飼料の生産拡大や持続可能な農村経済の確立に尽力し、地域共創の分野で数多くの実績を持つ。

パネルディスカッション

パネリスト

山形大学農学部 (株)長南牛肉店	浦川 修司 氏
野菜農場叶野	長南 邦彦 氏
やさいろ	叶野 幸喜 氏
サスティナ鶴岡	秋山 和宏 氏
(株)東北ハム	齋藤 翔太 氏
	蒂谷 伸一 氏

モダレーター

(同)Maternal	小野 愛美 氏
-------------	---------